

事業活動実績報告書

施設名	浜島幼稚園
教育理念	友達を大切に、思いやりのある心、身体をたくましく育てる。
事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	体育専門講師の指導を取り入れた理念の実現
2 実施期間	令和 5年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日

3 取組概要	(取組日) 令和5年 4月13日 ~ 令和5年 4月27日	<p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>[徒手] 各種ジャンプ、柔軟、前屈、足裏合わせ</p> <p>[マット] くま歩き、横転、でんぐり返し</p> <p>[陸上運動] 立ち幅跳び、走り幅跳び、鬼遊び</p>	 <p>P1030244.JPG</p>
	(取組日) 令和5年 5月11日 ~ 令和5年 5月18日	<p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>[跳び箱] 飛び上がり、馬乗り進み、開脚飛び</p> <p>[鉄棒] ぶら下がり、前回り降り、逆上がり</p> <p>[陸上運動] 立ち幅跳び、走り幅跳び、かかえ上げ、ひっぱりっこ</p>	 <p>P1030355.JPG</p>
3 取組概要	(取組日) 令和5年 6月 1日 ~ 令和5年 6月29日	<p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>[長なわ] へびとび、くぐり抜け、回旋くぐり抜け</p> <p>[陸上運動] ランニング</p> <p>[布玉] 補給、頭上投球捕球、遠投</p> <p>[平均台] 台上けんけん、またぎ超え、立位横進全身</p> <p>[鉄棒] ぶら下がり、前回り降り、逆上がり</p>	 <p>P1030265.JPG</p>
	(取組日) 令和5年 7月 6日 ~ 令和5年 7月27日	<p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>[マット] 2人組手押し車、馬乗り進み、前転、簡易飛び込み前転</p> <p>[長なわ] へびとび、くぐり抜け、回旋くぐり抜け</p> <p>[陸上運動] 短距離走、スタンディング・クラウチングスタート、ゴム紐ハードル</p>	 <p>P1030351.JPG</p>

3 取組概要	<p>(取組日) 令和5年 9月 7日 ~ 令和5年 9月28日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>【陸上運動】 短距離走、スタンディングスタート、旋回リレー</p> <p>準備体操・行進練習 運動会練習</p>	 <p>P1030285.JPG</p>
	<p>(取組日) 令和5年 10月 5日 ~ 令和5年10月26日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>運動会10月7日</p> <p>【陸上運動】 トラックリレー</p> <p>【跳び箱】 踏み越し1段、飛び上がり2~3段、馬乗り進み、開脚飛び</p> <p>【測定】 握力、ジャンプ、長座、ジグザグ走、バランス</p>	 <p>P1030297.JPG</p>
3 取組概要	<p>(取組日) 令和5年11月 2日 ~ 令和5年11月30日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>マラソン大会11月9日</p> <p>【陸上運動】 マラソン(年少1周、年中2周、年長3周)</p> <p>【平均台】 腕立て横飛越、立位横進前進後進</p>	 <p>P1030304.JPG</p>
	<p>(取組日) 令和5年 12月 7日 ~ 令和5年12月21日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>【短縄運動】 空間認知能力とリズム感を使い、跳ぶ運動を習得する。 前回旋跳び、後ろ回旋跳び、各種バランス遊び</p> <p>【遊戯】 ドッジボール、鬼遊び、各種バランス遊び</p>	 <p>P1030358.JPG</p>
	<p>(取組日) 令和6年 1月 1日 ~ 令和6年 1月25日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>【マット運動】 手つなぎ両足ジャンプ・伸脚横転前転 手押し車・馬乗り進み</p> <p>【ボール運動】 ボール取り競走・キャッチボール・遠投</p> <p>【陸上】 ランニング・スイッチターン</p>	 <p>P1030354.JPG</p>

<p>3 取組概要</p>	<p>(取組日) 令和6年 2月 1日 ~ 令和6年 2月29日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>【短なわ運動】 各種なわとび練習</p> <p>前回旋・後ろ回旋・あや跳び・2人跳び・駆け後跳び他</p> <p>【鉄棒運動】 前回り降り・足抜き回り・団子ぶら下がり</p> <p>【とび箱運動】 両足飛乗り降り・腕立て跳びあがり</p>	 <p>P1030350.JPG</p>
	<p>(取組日) 令和6年 3月 7日 ~ 令和6年 3月11日</p> <p>(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること</p> <p>-----</p> <p>【総合(とび箱・平均台)】</p> <p>連続グー足ジャンプ・連続跳びあがり・連続馬乗り跳び</p> <p>【遊戯運動】</p> <p>二人組遊び</p> <p>ひっぱりっこ競走・背中押し競走・ひっくり返し競走</p> <p>じゃんけん荷物運び競走</p>	 <p>P1030382.JPG</p>

効果検証報告書

施設名		浜島幼稚園
教育理念		友達を大切に、思いやりのある心、身体をたくましく育てる。
事業の区分(5領域)		健康 人間関係 環境 言葉・表現
1 事業名		体育専門講師の指導を取り入れた理念の実現
2 事業概要		体育指導を通して、体力や体幹の向上を図る。
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 体育指導の専門講師を招聘し、幼稚園教諭が補助しています。1977年より他園に先駆けて、この体制を整え子どもの成長に大きく役立っています。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 幼児期は、幼児が主体的に活動を行い、発達に必要な経験や運動遊びができる環境が大切である。今後も子どもの成長に役立つ環境づくりを進めていく。
計画時	4 事業のねらい	社会状況の変化から、こどもの世界でも遊びの時間や遊びの人数の減少があります。子どもの運動不足から、体力や体幹の低下傾向が見られる為、十分に身体を動かす必要があります。運動能力面と精神活動面の調和的発育・発達を育む狙いを持って展開しています。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 毎年、体力測定を実施している。その結果を参考にして、体育指導に取り入れている。運動能力テストの結果では、5項目について評価(①前屈②垂直跳び③ジグザグ走④バランス⑤握力)し、平均値を下回ったのは5歳児の③、4歳児の⑤のみであった。他項目では男女とも優れた結果となっている。また、精神活動面では調和的発育により子供たちの笑顔が増えている。
計画時	5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 文部科学省推奨の「幼児期運動指針」に基づき、こどもの発達の適時制を考慮したカリキュラム構成を行い、運動遊びを中心とした幼児体育を実践しています。当園の特徴として「走る」ことを重要視しています。運動遊び(マット運動・鉄棒・跳び箱・縄跳び等)を取り入れて体幹を強くし、体幹が強くなると、手の振りや足の上下の運びが自然に動き、行進のフォーム・走るフォームが整います。運動会の種目の1つに年長児の紅白リレーがあります。子ども1人1人の足が地についた走るフォームが綺麗です。幼稚園児とは思えない走りは感無量です。保護者からも「素晴らしい走り、見ごたえがあった」と称賛されています。また当園独自の「マラソン大会」では広いグラウンドを年少1周・年中2周・年長3周走ります。運動会のリレーや、かけっことは異なり自分のペースで最後まで走り切るのが狙いです。日頃より意欲的に活動しているので最後まで諦めずに走りたいという子どもがほとんどです。中には追い抜かれて泣き出す子もいますが、クラスの子も達は一丸となって応援しています。リレーやマラソンをとおして、心の絆が生れ、人を思いやる心・最後まで諦めない精神が培われています。
	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 体幹の維持、「走る態勢」が出来ている。走る途中で転倒する園児がほとんどいない。マラソン大会では、グラウンドを年少児1周、年中児2周、年長児3周を全員が走り切った。また、心の絆や思いやる心が生まれ、子供同士のケンカが減少し、ケンカが起きてもすぐに仲直りする傾向がみられる。

計画時	6 環境構成	転倒する時に、地面に手を付けないことや、正しい姿勢が保持できない子供の増加がみられます。遊びのルールや楽しみ方の理解を、ごっこ遊び(鬼ごっこ、しっぽ取り、氷鬼等)や伝承遊び(だるまさんころんだ、はないちもんめ等)を通して伝えています。
	事業後	<p>6についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>ボールを使った遊び(ドッチボールや中当て)では、ボールを投げる姿勢や避け方を意識して説明を行った。当初は転がすことはできても、投げるのが苦手という子供やボールへの恐怖心から避けることができない子供など、様々な様子が見られたが、繰り返し活動を行ううちに投げる姿勢やボールを見て動く力、避ける力が身に付き、体幹や腕力の向上につながった。</p> <p>また、ごっこ遊びを行ったことで、集団での遊びに自然になじむことができルールの理解が進んだ。</p> <p>このことは日常生活での約束や決まり事を守ることへの意識の高まりにもつながった。</p> <p>また、広いグラウンドで思い切り身体を動かすことができたことで、部屋の中では落ち着いて過ごすことができた。</p> <p>どの遊びでもしっかりとルールを守って行う中で、体力や体幹が向上する様子が見られた。</p> <p>まずは保育者が正しい遊び方やルールを伝え、そこから子供たちが自分で意識して守れるように、さらに守りながら遊びを発展できるように見守っていくことが大切であると感じた。</p>
	7 期待される効果 児童の姿	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <p>心と身体のバランスを醸成する。</p>
	事業後	<p>7についての効果・検証</p> <p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <p>自分の気持ちを調整したり、くじけずに自分でやり抜く前向きな姿勢が培われた。</p>
	8 効果検証 総括	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <p>幼児の長期的な視点に立ち、発達の特徴を捉えながらどのようにしたら良いか、検証し進めていくことが大切であると考えている。</p>